



式辞

赤塚山の地も、寒さ厳しい季節から、春の気配を感じる季節になりました。11 回生のみなさん、卒業おめでとうございます

このよき日に、多くの御来賓のみなさま、多くの保護者のみなさまに御臨席いただき、第 11 回卒業証書授与式を挙行できますこと、本校にとりまして、このうえない慶びでございます。本校教育活動への、みなさまの深い御理解と心温まる御支援をいただくことができたからこそ、この日を迎えることができました。高いところからではございますが、御礼を申し上げます。11 回生からの寄贈による、真新しい演台を用い、先ほど卒業証書を授与することができました。

本校は、「神戸大学の理念である『真摯・自由・協同』の精神に基づき、社会を創造する知性を持ち国際感覚にあふれた人材の育成をねらいとした教育を行い、心豊かな人づくりの推進に寄与することを基本理念」として、平成 21 年 2009 年に神戸大学によって設立されました。本校は、「国際的視野を持ち未来を切り拓く、真理探究の精神に富んだグローバルキャリア人」の育成を目指し、「『見つける力』『調べる力』『まとめる力』『発表する力』の 4 つの力とそれらを総合する『考える力』」の育成を目指して教育活動を推進しています。

11 回生は、平成 31 年 2019 年 4 月、創立 10 年を経た本校に入学しました。前途洋々たるスタートでした。しかし、翌、令和 2 年 2020 年 3 月から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置として、3 か月に及ぶ臨時休業期間を経験することになりました。6 月以降も分散登校、短縮授業など、様々な制約が続き、平常授業とは、ほど遠い状態でした。制約のある生活が 3 年あまり続きました。準備を進めていた沖縄への宿泊行事も実施することができませんでした。2 年から 4 年までの 3 年間、本来なら 6 年間で最も精力的に活動できる期間です。その時期に大きな制約を受けた 11 回生、「こんなはずではない」と思う場面や、悔しい場面が多くあったと思います。しかし、このような経験をしたからこそ、得ることができたものも多くあるはずです。この経験を、これから直面する課題に対峙する際、ぜひともいかしてもらいたいです。

現在、AIが驚異的に進歩し、これまでとは異なるステージへ、どんどん進んでいます。私たちが、どのようにAIと接していくか、大きな課題です。倫理、権利、個人情報保護など、様々な観点から判断する必要があります。どのような方向に進むのか、まだまだ先を見通すことはできません。また人類は、本格的な人口減少社会に直面しています。これからの時代、従来の価値創造モデルが通用しにくくなります。既存の価値の奪い合い、戦争の危険性が高まる世界に向かっていきます。11 回生は、そのような時代に、社会の中核、リーダーとしての活躍が求められています。本校での学びを基盤に、平和で安全な社会を構築する主体となることを期待します。

本校を卒業し、次のステージに巣立っていく 11 回生に、大切にしてもらいたい 3 つの言葉を贈ります。1 つは「命」、もう 1 つは「愛」、最後の 1 つは「夢」です。「命」と真摯に向き合いましょう。自分の命はもちろんのこと、他の人の「命」を大切にする人になってください。「愛」のある人になりましょう。自分を愛するように、他の人を愛しましょう。思いやりのある人になってください。「夢」をもちましょう。



「夢」を実現できるかどうかはわかりません。しかし、「夢」は生きる希望になることもあり、自分を成長させる契機にもなります。「夢」を語ることができる人になってください。

保護者のみなさま、御子様の御卒業、おめでとうございます。御子様と6年間をどんな風に過ごされたでしょうか。小学校を卒業した御様が、成人となって本校を卒業します。「子育ては『心配』を『信頼』に変える旅」です。この六年間、御子様への「心配」は減ってきましたか。御子様を頼もしく思い、「信頼」できる場面が増えてきましたか。もちろん、親としての「心配」がなくなることはありません。今日の卒業、保護者のみなさまにとっては子離れ、御子様にとっては親離れの機会かもしれません。新たな親子関係のスタートです。

本日、御臨席いただきました御来賓のみなさま、あらためて御礼申し上げます。今後とも、本校教育活動への御理解及び御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

|| 回生は、主体的に自己及び社会の未来を切り拓くことができます。国際的視野を持ち、自他を認め合って行動できます。真理探究の精神に富み、新たな価値を創造する力を身につけています。
|| 回生のみなさん、卒業、おめでとうございます。

卒業生、ひとりひとりが、輝く未来を描いていくことを、強く願い、式辞といたします。

令和7年 2025年 2月28日 神戸大学附属中等教育学校 校長 齋木俊城